



令和5年8月1日
大津市立皇子が丘保育園

本格的な夏がやってきました。保育園ではプールで遊ぶ子ども達の楽しい声が響いています。連日暑い日が続いており、子どもも大人も体力をかなり消耗しています。バランスの良い食事・睡眠を十分にとり、こまめな水分補給を心がけ暑い夏を元気に乗り越えましょう。

<保健室より>

7月は熱でお休みされるお子様や夏風邪と診断されるお子様がおられました。全国的には新型コロナウイルス感染症は増加傾向と言われていいます。体調不良がありましたら担任や保健担当に必ずお知らせ下さい。また食中毒が発生しやすい気象条件になっています。食品の加熱処理には注意しましょう。

毎日猛暑の中、保育園では熱中症対策をしています。外遊び・プール遊びでは、活動前後の水分補給を実施し、外気温と暑さ指数（熱中症を予防する事を目的とした指標）、その日の子どもの健康状態を見つつ、遊んでいます。子どもたちは体温調節機能が未熟なために外気温・室温・湿度・衣服・水分不足等による影響を受けやすく、暑さで体温コントロールができなくなり、熱が体内にこもると熱中症になることもあります。毎日の健康観察と体調変化の早期発見に努めています。暑い夏を乗り切るためにお家でも毎朝の健康チェックをお願いします。



<身体計測>

とんぼ組	1日(火)
かえる組	3日(木)
みつばち組	4日(金)
あめんぼ組	7日(月)
おけら組	8日(火)



<気管支拡張剤の使用について>

気管支拡張剤（ホクナリンテープ）などの医師から処方された場合については、症状がひどい場合は、ご家庭での療養が必要ですが、どうしてもこのテープを貼って登園しなければならない場合は、必ず貼付剤に本人の物とわかるように名前を記入していただき、貼付した部位を担当にお知らせいただくようご協力をお願いいたします。

ご自宅から貼付してこられた場合、汗や様々な活動で剥がれてしまい、誤飲につながる可能性があります。園で剥がれてしまった場合に関しては、お子様に再度、貼付はせずに、持ち帰っていただくようにさせていただきます。

ご注意ください！<日焼けのし過ぎはやけど（火傷）と同じです！>

日焼けをすると皮膚が赤くなってヒリヒリしたり、皮膚が剥がれてきたりすることがあります。これは、皮膚がやけどしているためであり、紫外線を長時間浴びることで皮膚の表面の細胞が傷つき、炎症を起こしているのです。肌の状態をみて、水ぶくれがある場合や、赤み・痛みが強い時には小児科や皮膚科を受診するようにしてください。

日焼けをした際の処置は、皮膚が赤くなり熱を持っている部分はまず水や冷たいタオルで冷やすようにして下さい。またお湯につかると日焼けした部分が痛むので、ぬるめの温度に設定したシャワーで洗いましょう。日焼け後の皮膚は水分不足なので、保湿剤で皮膚の保湿を行うことも大切です。

